

平成 18 年 12 月 1 日

大学・研究機関各位

九州大学大学院農学研究院  
研究院長 今 泉 勝 己

家畜生産学講座（家畜生体機構学分野）  
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり家畜生産学講座（家畜生体機構学分野）教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数  
教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する教授は、大学院農学研究院動物資源科学部門家畜生産学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府動物資源科学専攻担当教員および農学部生物資源環境学科目担当教員となります。家畜生産学講座は、家畜生体機構学、家畜繁殖生理学および家畜飼料生産利用学の3分野から構成されており、同講座は、陸圏の動物資源に関する生命現象の解明、安定的家畜生産および動物資源生存環境の保全に関する教育研究を行っています。このうち家畜生体機構学分野では、主に以下の教育研究等を展開しています。

- 1) 家畜および家禽骨格筋の構造特性解明に基づく食肉としての新たな機能性の探索
- 2) 家畜および家禽の味覚受容機構解明のための可視化技術の確立
- 3) 家畜および家禽の視床下部-脳下垂体系の構造特性と相互関連機構解明に伴う生産技術の高度化

3. 採用予定時期

平成 19 年 4 月以降の可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域について優れた業績と該博な識見を有し、家畜生体機構学の発展と教育研究に熱意をもって取り組む方を求めています。

5. 担当授業科目

(1) 学部

家畜生体機構学第一、同第二、家畜生体機構学実験、卒業研究

(2) 大学院

修士課程：家畜生体機構学特論、動物組織学特論、家畜生体機構学演習第一、同第二、動物資源科学特別研究第一、同第二

博士後期課程：家畜生体機構学講究、家畜生体機構学講究演習、家畜生産学講究演習

## 6. 提出書類

(1) 略歴書（本籍は都道府県のみ）

(2) 業績目録

① 原著論文： 著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

(i) 査読付雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 国際学会プロシーディングスその他、で区分すること

② 総 説： 著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

③ 著 書： 著者名、題名、発行所、発行年

④ そ の 他： 特記すべき事項（学会賞、国際学会招待講演等、特許、資格など）

(3) 主要論文の別刷り又はその写し（5編、選考後お返しします）

(4) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負（1,000字程度）

(5) これまでの教育の実績と今後の教育に関する抱負（1,000字程度）

教育実績のない場合、今後の教育に関する抱負

(6) 外部資金導入実績（最近10年間、科研費を含む。名称、期間、金額、代表・分担の別を記す）

(7) 推薦書

自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究等について問い合わせのできる方2名の氏名および連絡先

他薦の場合：推薦書（1通）

## 7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致しません。

## 8. 提出締切

平成19年1月9日（火）必着

## 9. 提出書類の送付先

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10-1

九州大学大学院農学研究院 生物資源開発管理学部門

家畜生産学講座 家畜生体機構学分野 教授候補者選考委員会

委員長 多田内 修

電話：092-642-2837

E-mail：tadauchi@agr.kyushu-u.ac.jp

※書類は書留で送付のこと

## 10. その他

(1) 九州大学大学院農学研究院は、平成15年4月1日より全ての職に教員任期制（5年・再任可）を導入しています。

(2) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。

(3) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページを参照してください。

研究院・学府・学部 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>

(4) 送付された資料は選考以外の目的には使用しません。

(5) 給与等についての問い合わせ先：

九州大学農学部庶務係（電話：092-642-2802）